

「森のアスレチック (秋編・4)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーション研究所 研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

「森のアスレチック」の中でも、メインの「アトラクション」が「森のターザン・ロープ」だ。これは、設置に一番苦心したものである。ザイルの強度、張力、傾斜などが非常に難しく、何度も何度も試作と再設置を繰り返したものだ。特に安全性には最大限に配慮し、ザイル、滑車、カラビナ、ラチェット金具など、すべて耐荷重 1500kg 以上のものを選択している。子どもたちが乗る前に、当方自身が試し、安全性を確認した。



「搭乗口」は高い場所に設置したので、丈夫な水平脚立を置いて、子どもだけでも「搭乗」できるように工夫した。最初は大人の介助が必要だったが、この小学生の女の子は、すぐに自分だけでスタートできるようになった。



妹の幼稚園児の女の子も、最初は助けてもらっていたが、あっという間に自力でできるようになった。



こうして両足を水平にあげてスタートすると、ゴール近くまで滑ることができる。地面はカラマツの落ち葉に覆われているので、万が一落ちても安全だ。



アスレチックの近くに「森のお店」を開店させることにした。ジュース、お菓子、軽食などを楽しめる。次回は「お金」も作ると、楽しそうだった。



この日は昼食も、みんなで森の中でとることにした。空気がおいしいので、食事もおいしい。実に豊かで楽しいひと時を過ごせた。